

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	28	学校名	宇都宮市立清原東小学校
-----	---------------	------	----	-----	-------------

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

日本国憲法及び教育基本法にのっとり「人間尊重の教育」を基盤とし、一人一人の児童を正しく理解し、よりよき人格の陶冶を図り、「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童」を育成する。

(2) 目指す児童像

- ・心豊かで思いやりのある子ども（やさしい子）
- ・進んで学びよく考える子ども（まなぶ子）
- ・健康でたくましい子ども（たくましい子）
- ・心をつくして働く子ども（はたらく子）

2 学校経営の理念

「**学びの連続性を踏まえ、児童が社会において自立的に生きる基礎を培う活気に満ちた学校づくり**」

小学校教育は、生涯学習の基礎づくりの段階である。児童が社会で自立的に生きるために必要とされる力を身に付けることができるような教育活動を展開し、一人一人が自己実現に向けて意欲的に挑戦できる魅力ある学校の創造に向け、保護者や地域等の協働のもと、全職員が一丸となって取り組む。それぞれの持ち味や専門性、よさを発揮し、自他の創意と向上を尊ぶ教師集団であることが、活気に満ちた学校づくりの基盤である。教職員・児童が存分に力を発揮し、「楽しく、居がゆがあり、互いの成長を実感できる」学校づくりに努める。

3 学校経営の方針

(1) 学習指導の充実

- ・基礎的・基本的な「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性」の涵養を目指し、確かな学力を育む学習指導の充実を図る。
- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組み、教員の指導力の向上を目指す。
- ・図書やICT等（AI型学習ドリルを含む）を計画的・効果的に活用した教育活動の充実を図る。

(2) 児童指導の充実

- ・一人の人間として尊重し自己有用感を高める指導を行い、思いやりや規範意識、やりぬく心の育成に努める。
- ・道徳教育の充実及び児童の主体性を尊重した教育活動を展開し、自己指導力の向上を図る。
- ・人権教育を推進し、いじめ防止や不登校対策、特別支援教育や外国人児童の支援を充実させる。

(3) 教職員の資質能力及びチームとしての学校力向上

- ・教育公務員としての使命と職責を自覚し、互いに学び合い高め合える同僚性の構築と教職員の指導力の向上を目指す。（OJTや校内研修を活用して、授業力や学級経営力の向上を図る。）
- ・業務の適正化及び勤務時間を意識した働き方を推進し、全職員で取り組む。

(4) 危機管理意識の高揚

- ・普段から全教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに、危機的状況に対した場合、最悪の状況を想定して初期対応を迅速かつ慎重に進め、指揮系統を明確にした対応を図る。

(5) 地域と連携した活動の充実

- ・家庭や地域、企業等との協働を推進することにより、様々な教育資源（ひと・もの・こと）を生かした地域とともにある学校づくりに努める。
- ・学校公開（授業参観、土曜授業、行事等）、各種便り、学校HP等による情報発信を推進し、保護者や地域との連携を図り、信頼関係の構築に努める。
- ・保護者や地域の声を学校経営に生かすとともに、家庭的な問題を抱えている児童や外国人児童への対応を関係諸機関と連携を図りながら、よりよい児童の育成に向けて取り組む。

4 教育課程編成の方針

- ・公教育の立場から、教育関係法規、学習指導要領及び県・市の教育行政の方針等を踏まえ、教育課程を編成する。
- ・教育目標の具現化を図るため、家庭や地域との連携・協力や教科横断等の視点を取り入れた「社会に開かれた教育課程」編成及びカリキュラム・マネジメントの充実に努める。
- ・義務教育9年間の学びの連続性を重視し、創意に満ちた特色ある教育活動が展開できるよう工夫する。
- ・問題解決的な学習の充実にともに、各教科等の関連を図り、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力など学習の基盤となる能力や持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育む教育活動の展開を目指す。

5 今年度の重点目標 (小中一貫教育・地域学校園) に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営：

社会を自立的に生きることができる児童の育成を目指し、人との豊かな関わりを生かした活動に取り組むとともに、学校業務の効率化を推進する。

- ・児童・教職員が生き生きと活気溢れる場とするための指導体制の推進
- ・社会の変化に対応できる校内組織の運用

本地域の特色や教育力を生かして、社会を自立的に生きることができる児童を地域とともに育てていく。併せて、教職員が健康でやりがいをもって勤務し、児童と向き合いながら質の高い教育が行えるよう、職場環境改善のための取組を推進する。

(2) 学習指導：

一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、分かる喜びを味わいながら、主体的・対話的に学習に取り組むことのできる児童の育成。

- ・望ましい学習態度の育成

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

望ましい教育観に基づいた児童主体の学習への指導観を理解し、創意工夫し分かる喜びを味わえる充実した授業になるよう努める。また教職員の持ち味や専門性を生かし、可能な範囲で教科担任制の導入に努める。

(3) 児童指導：

基本的生活習慣を身に付け、自他のよさを認め尊重するとともに、互いを高め合う児童の育成

○気持ちのこもった明るい挨拶、ふわふわ言葉の推進・ちくちく言葉の禁止

- ・「認め・励ます」教育の一層の推進 ・子供同士の関わりを核とした学級づくり・学年経営

学校全体で行う道徳教育を充実させ、規範意識や思いやりの心を育むとともに、教師の学級経営力を高め、児童にとって居がいのある学級・学校づくりに取り組む。また、一人一人のよさを認め、学年間や教職員同士、保護者との連携を強め、組織の力を生かしながら問題行動等の予防と早期発見・対応に努める。

(4) 健康（体力・保健・食・安全）：

心身ともに健康で安全な生活を送るために、望ましい生活態度や習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む児童の育成

- ・教科体育の充実 ・外遊びの奨励
- ・感染症予防 ・望ましい食習慣の形成

健康で安全な生活ができる基本的生活習慣を身に付ける指導と、体力の向上を図る教育活動を推進する。困難なことに会っても諦めずにやりぬく態度や、進んで働こうとする態度の育成に努める。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

地域の教育資源である「人」「自然」「文化」との豊かなふれあいを通して、一人一人が自己の生き方を考え、将来への希望をもつとともに、社会で自立的に生きるための能力を育成する。

(2) 具体的取組 「夢のかけ橋プロジェクト（ふれあいによる自己の生き方の探求）」

①総合的な学習の時間、生活科、学校行事等における異学年交流 ・縦割り班活動

②地域の人・自然・文化にふれ合う、他者の生き方を知る、自己の生き方を考える活動

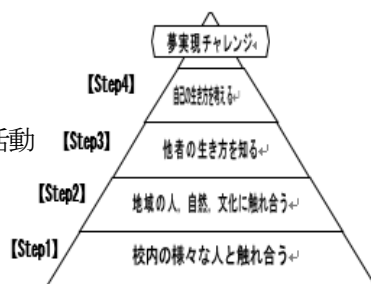
◇ふれあい発見ラリー（全学年）

・飛べオオムラサキ（3年）・心の目を開こう（4年）・環境について考えよう（5年）

・二分の一人式（4年）・人生の先輩の生き方に学ぶ（5年）◇夢実現教室（6年）

(3) 保護者、地域との連携・協力体制づくり

・学校だより、学年懇談会等による周知 ・地域協議会活動を通しての働きかけ ・人材バンクの整備・拡充



8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり

①基本的考え：教育活動の様子を積極的に発信することで、学校の実態を正しく理解してもらうとともに、地域の教育的資源を有効に活用できるよう、家庭や地域との連携を深める。

②主な取組：・各種通知、HPの活用 ・授業参観やオープンスクール ・PTA運営委員会 ・地域協議会
・自然観察体験 ・ふれあい発見ラリー ・夢実現教室 ・登下校の見守り ・読み聞かせ

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え：学校園各小中学校間の連携を密にし、児童生徒や地域の実態を共有し、知徳体のバランスのとれた児童生徒の育成を目指す。「宮・未来キャリア教育内容一覧表」に基づき、自己を理解する力や将来を設計する力などを計画的に育み、自身の変容や成長を自己評価できるようにする。

②主な取組：・学校園挨拶運動 ・学校園専門部会の定期的開催 ・一人職の連携協働 ・乗り入れ授業
・宮・未来キャリア・パスポートの活用 ・体力向上各種検定

(3) 不登校対策

①基本的考え：不登校の未然防止と早期対応に努める。教育相談チームの組織力を高め、意図的・計画的に児童、保護者に働きかけることで、児童の社会的自立を支援する。

②主な取組：・教師及び児童間の信頼関係の構築 ・居がいのある学級・学校づくり
・学校生活に関するアンケート及び教育相談の定期的な実施 ・支援会議の充実
・SCの効果的活用 ・関係諸機関との連携 ・児童指導連絡会による情報共有

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え：学習の基盤となる情報活用能力（情報モラルを含む）を育む。またICT等を効果的に活用しながら、教科の学びを深めることができるよう指導するとともに、児童が一人一台端末を学習や生活に有効に活用できるようにする。

②主な取組：・情報手段の基本的な操作の習得に関する学習活動
・情報モラルの指導や管理方法の徹底
・ICTを効果的に活用した授業の工夫
・協働学習ツール等の積極的な活用
・プログラミングの体験を通して論理的思考力を身に付けるための学習活動

(5) 宇都宮学

①基本的考え：総合的な学習の時間や社会科・音楽科等の学習を通して、宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りを育む。

②主な取組：・ふれあい発見ラリー（全学年） ・清原のじまん発見（3年）
・宇都宮の自然と交通（5年） ・宇都宮の文化財・伝統文化（6年）
・ふれあい文化教室（5、6年）